

YO-METSUDO  
PRESENTS  
Fate/SN・FGO Fan Book

となりの

乳王さま  
四幕

成人向  
R18  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止



となりの

乳王さま 四幕



光の最果てにて  
今度こそ完全に  
消え去るがいい…

今度は  
一緒に連れて…

### ■これまでのあらすじ

真夏の日、アルトリアと士郎は  
いつもどおり仲睦まじく暮らしていた。

海に遊びに行ったふたりを前に  
かつて滅ぼしたはずの海魔が現れる。  
海魔はアルトリアと士郎を触手で蹂躞するが  
士郎の魔力を狙う海魔に激昂したアルトリアの宝具を持って  
完全決着を果たす。

——だが、魔力を奪われた士郎は目覚めない。  
ただただ涙するアルトリアの前に現れたのは  
黒鎧を身を纏ったアルトリアと同じ顔の女性であった。

最果てにて

聖槍よ…  
果てを語れ…ッ!!

さあ…今すぐ  
決断するのだ

英霊  
アルトリアよ…

先に誅を下すが  
先か…

お前がシロウを  
この手で殺すが先か…

家族…ここは  
もう  
ここで終わりだ…

夢から醒めよ…



シロウ…  
家に着きましたよ



今日は  
色んな事があって  
大変でしたが

もうあんな目に  
合わないよう  
私が全力で  
護りますから

は…

は…



だから…  
また落ち着いた  
時にでも二人で  
海に行きましょう  
シロウ

…シロウ…  
どうか…目を…  
開けて下さい…

は…

は…

は…



これが  
この世界の  
『私』か…

…まるで愛する  
我が子を見守る  
母親の姿ではないか



シロウ…

…

は…

は…



あの  
アルトリア  
私自身が…

今一度  
決断を問おう…  
英霊アルトリアよ

私に誅を  
下すのが先か

…それは  
出来ません…

そうか…

シロウは殺さない  
私の手で  
救います

ならば良からう  
誅を下す方を  
選ぶのならば…ッ

そんな事も  
させません！



お前自身が  
シロウをこの手で  
殺すが先か

今  
ここで決めろ

.....



貴様判っているのか？  
その子の聖杯の欠片で  
【呪い】の侵食は  
活性化され始めている

歪な聖杯がもたらす  
災厄はお前も  
知っという  
それをお前は……ッ！

今ここで食い止めなければ  
この「世界」に  
とって新たな【災い】に  
なりかねない



シロウに牙を  
向けるので  
あれば……

例え貴女でも  
世界が相手でも  
容赦はしないッ！



判っています

今の私は『セイバー』ではない

聖剣も持たない私ではシロウの内に眠るアヴァロン【鞘は輝かない】

それでも... 私はシロウの剣なのです... 私はこの子を... シロウを愛しています

今の私はシロウの呪いの歪みすら分かち合いたいと思うほどに愛おしい...

お前は...

私が知っている『私』ではないのか...?

ストップ！

はい！二人共！そこまで！

『マスター』...

初めから高圧的な態度は駄目だよオルタ？

あ... 貴方は...?

相手がつるでしょ？

私はこのオルタのマスターゴメンねっ 出合い頭になっこんな事になっ

貴女が  
冬木に喚ばれた  
え〜と

はぐれサーヴァントで  
間違いない？  
『獅子王』…さま？

…なるほど  
私とは異なる  
『私』がいて  
驚きました！

そう…あなた達は  
この世界とは異なる  
『別の世界』の  
者達なのです

ですが私は  
『獅子王』と呼ばれる  
神霊や  
はぐれ者とは違います

私はこの世界で  
生まれ…招かれ  
そして呪いの聖杯を  
幾度も破壊した  
サーヴァント

セイバー  
最果ての騎士王  
アルトリア  
ペンドラゴンです

どう？  
この子の具合は

はい  
黒い泥の呪いの  
進行は何とか  
収まりました…

ですがあくまで  
応急処置です

あの海魔との戦いで  
シロウの魔術回路が  
無理矢理こじ開けた為に  
もはや私一人で  
抑える事が…

それって…体内にある  
汚染された聖杯の欠片が  
また近い内に  
活性化されて…

この子が  
死んじゃうって事？

そういう…事です



ああ：今の私に  
聖剣があれば  
シロウ  
鞘に應えられるのに……

何故……  
私はこの身で再び  
喚ばれたのですか……

この身体では……  
シロウを守りきれない  
救う事も出来ない

運命は  
どこまで私を……

らしくないな  
『私』よ

オルタ……

ふんっ……

光の  
今度  
消え

聖剣が無くとも  
お前は高貴なる  
伝説の騎士王  
アーサー王なのだぞ

聖槍よ……  
果てを語れ……ッ

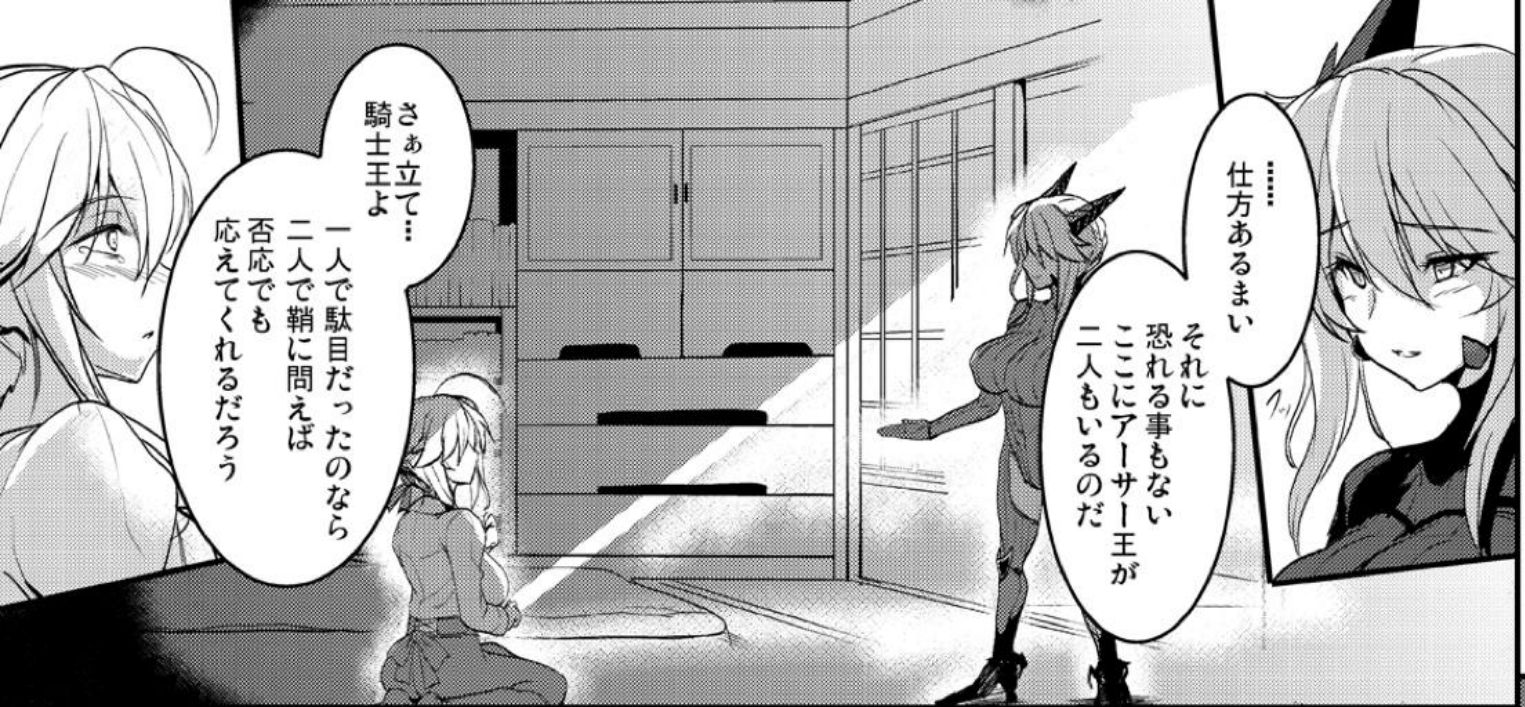
# 最末

この子の内にある『鞘』に  
今一度問えば  
良いだけの話であろう

あの戦いで見せた  
黄金の輝きは  
偽りだったのか？

わたしに……協力……  
してくれるのか？

……



……  
仕方あるまい

それに  
恐れる事もない  
ここにアーサー王が  
二人もいるのだ

さあ立て……  
騎士王よ

一人で駄目だったのなら  
二人で鞘に問えば  
否応でも  
応えてくれるだろう



有難う……  
もう一人の『私』よ

礼は後で  
良い……

で その子を  
救う為に我々は  
何をすれば良いのだ？  
アルトリアよ



……では  
まず服を  
脱いで下さい

な……ッ!?

今から始める方法は  
『そういう類』の  
ものです

私達二人で魔術回路に  
パスを通して  
シロウと接触します

そして意識の中で  
シロウの中に眠る  
『鞘』を直接  
呼び覚まします

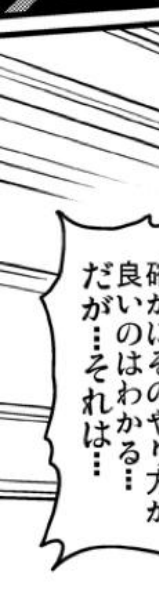
カルデアのマスターよ  
貴方には魔術詠唱で  
私達とシロウの  
霊的パスのサポートを  
お願いします

わ……判ったっ！  
サポートは  
まかせてっ！



ま……待ってくれ  
アルトリア！  
だっ大丈夫なのか？  
破廉恥だが……

確かにそのやり方が  
良いのはわかる……  
だが……それは……





そうすれば鞘による  
治癒効果で呪いを  
浄化出来るでしょう！

それに魔術回路の  
パスの経験は  
ある意味  
『二度目』ですから



ええ！サーヴァントの  
二人同時パスは  
それこそ命の危険は  
ありますが！

大丈夫です  
シロウの鞘は  
必ず応えてくれます



よおーし！  
それじゃ決意も  
固まったところで  
始めるよっ！

それじゃ  
二人とも  
頑張っ！

はいっ！  
お願いします！



変革準備  
—Auftrag wird ersetzt.

.....

接続  
gekennzeichnet. das Fleisch geht einmal  
開始  
zum Teil des Sternes zuruck..



シロウ：  
今：助けます...

自失 忘我  
Das dritte Element wird als das erste

あれ……こは……  
俺……  
死んじゃったのか



でも……  
何だか  
不思議と怖くない



それに……誰かに  
包まれてるみたいに  
安心感があつて……  
暖かい



セイバー



シロウ……っ!!

あ……  
アルトリア……?!  
ごごめん  
居ないと思って  
名前をまた……

いいんです  
良かったです

まだ安心するのは  
早いぞ  
お前たち



例の儀式を  
始めないと  
死ぬのだぞ?

ヤルなら  
さっさとすませよ

えっ?  
海辺であった  
黒いお姉さん……?

死ぬって…  
一体  
どういう…?

詳しい説明は  
後ほど話します

シロウ  
唐突で申し訳  
ありませんが

シロウには  
私達二人の『お相手』を  
してもらいます

な…ななな  
なんでさ!?

たふふ

急にそんな事  
言われても  
俺…っ

ちゅっ

えええーッ!?

大丈夫です  
どうか私を  
信じて下さい

ねっ♡

……

……うん…っ



さあシロウ  
私達のおっぱい  
ゆっくり愛撫して  
愛でてください

いつも私に  
丁寧な揉んで  
くれてるように…  
んっ♡  
そう…優しく

んっ♡

う…うん  
こ…う…だよね？

そう…  
上手ですよ  
シロウ♡

むっ♡

むっ♡



えっちな事  
してるのに  
何か現実味が  
ない

おい少年  
何を  
呆けている

い

い  
い



私の胸も  
アルトリアと  
同じように愛だよ

ホラっ

夢の中だから  
なのか…  
それとも…？

んぶっ！  
オルタ…さん！？

オルタでいい…  
……んっ

でも俺の中に眠る  
何か…  
二人との繋がりを  
求めたがっている…



さて…シロウ  
このベッドに  
横になって下さい

オルタは  
私の向かい側に  
座って一緒に  
動いて下さい

まさか…  
『アレ』をやるのか？  
アルトリア

ええっ  
その方がより  
効率が良いのです

一体何を…

おにい

たふ



おわあっ！

どうですか？  
シロウ♥

私達のパイズリの  
居心地は♥

これって…！

ふん…っ

光栄に思うが  
良いぞ  
シロウよ

にちゅ

おにい

おわ

いやっ  
あの…っ

あわわわっ！

俺のいつも知っているアルトリアと

どうですか？ シロウ気持ちいいですか♡

こゝんな感じで擦り合わせるのか

俺の知らないアルトリアとそっくりのお姉さんが…

二人の乳圧がちんぽに伝わって

なにこれ…すごいっ

その調子ですシロウはおっぱいで貰うのが大好きなんです♡

うむむ！ そんなに良かったのか

二人並んで俺のチンポに乳合わせして交互に挟んでくれているなんて…

シロウの反応は素直で可愛いですね

アルトリアよもっと動かせば早く出せるのでは

いいえここはゆっくり二人で攻め立てるべきかと

いっぱいずりずりしてくる光景が…あまりにあまりにえっち過ぎて…

おにゅ♡

にゅ♡

たふ♡

たふ♡



まっ…待って  
ふたりともっ！

いくらなんでも  
刺激が強すぎて  
でちゃうっ！

はーっ

すぐ出ちゃう  
から！

むっ

ふふっ我慢してる  
シロウは  
とても可愛いですね

むっ

むっ

たふっ

にちゅ

たふっ

ああ先っぽ…  
ビリビリ来るっ

でちゃうっうっうっ！

ああ…  
少年のおちんぽが  
胸の中で  
ビクビクして…ッ

どうぞ♥  
私達のおっぱいで  
どびゅどびゅして  
ください…♥

にちゅ

にちゅ

にちゅ

たふっ



あれだけ勢いよく  
射精しても  
まだ滾ってるのか  
このシロウ  
という少年は…

……

ふ〜♡

は〜♡

は〜♡

は〜♡

は〜♡

は〜♡

やはりオルタも  
シロウ相手には  
欲しがるのですね

んあ

待ってくれ  
これは...っ  
あっ...

この私が...  
少年の精液浴びて  
高揚しているのか...

さあシロウ  
オルタに貴方  
をそり勃つ槍で  
お相手を...  
私の時と  
同じようにすれば  
出来ますから

肉棒ひとつで  
私が気持ちよく  
なるわけが...

あ ああ...  
いつでも  
来るがいい

だがいくら  
アルトリアが  
仕込んだ子とは言え

それじゃ  
オルタ...いくよ

しっ

ぬち

あつ

あつ



挿入しただけで…  
子宮が…!

あう…っ  
オルタの膣内！  
凄い絞まって

子宮がピッタリ  
この少年ちんぽを  
求めてぎゅうぎゅう  
吸い付いて…くるっ

あっあっあっあっ

ごめん  
オルタ  
俺ばっかり...  
気持ち  
良くなって

ちゅぽん。

き...気にする...なっ  
好きに動いて...  
構わんぞ...っ

何故だ...  
この少年を  
前に...



この私が...っ  
こんな鳴き声  
出すなんて...っ



まるで生娘の  
ようではないか...

はあ...はあ...  
こ...こんな  
この少年の  
相性がいいなんてえ...



今度は私にも  
いっぱい下さい

シロウ  
オルタだけじゃなく

ちゅ♡

ん♡  
ちゅ♡

ん♡

ちゅ♡

ちゅ♡

はいっ  
今日は特に  
私たちをいっぱい  
シロウの身体につ  
刷り込む必要が  
あるのです♡

うううう  
あうあう

ん♡

ん♡

だから♡いっぱい  
おちんぽ♡  
頑張ってください♡

あーアルトリアっ  
今日は  
いつもより激し...

ぬ♡ちゅ♡

ぬ♡ちゅ♡

ぬ♡ちゅ♡

ぬ♡ちゅ♡

ん♡



んあ♡

アッ♡

あ♡

私の子宮に  
たくさん  
打ち付けてください♡  
絆がより深く  
なるように  
いっぱい♡♡♡♡♡

アッ♡

そう…  
上手ですよ  
シロウ♡  
もつと腰を  
ちんぽを突き立てて♡

アッ

アッ♡



アッ♡

アッ♡

あ♡あ♡あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

お…オルタ…  
そんな  
がつつり啜え…ツ

んん♡  
嫌か？

いやじゃない  
けど…

なら  
このままで  
いいな

んん♡

うあああ…  
あああ…

んん♡

何故だろうな…  
お前とは知り合って  
間もない間柄だが…

お前はすぐ  
消えてしまうのでは  
ないかと  
不安でならない…

んん♡

ちゅる♡

んん♡

だから  
もっとお前も  
私を求めよ  
シロウよ…♡

あの…それって  
どういう…？

ううっ！

シロウ…オルタも  
私と同じように  
惹かれて貴方を  
心配しているんですよ

だから  
もっといっぱい  
おちんぽ  
頑張ってください♡



ううっ  
いくらなんでも  
二人共  
求め過ぎだよ...

はっ...

はっ...

まるでアルトリア  
二人一緒に  
相手してる  
気分だけど

さあ...今度は

二人一緒に  
お相手ですよ  
シロウ♡

んあ♡

こんな大人でも  
悦びそうな  
エッチ過ぎる情景  
見せられたら

アッ♡

ううっ  
シロウ...  
すっご...いっ

何度だって  
猛って求めちゃう  
じゃないか!

ああああ  
シロウっ  
素敵です♡



あ…  
アルトリアよ  
シロウはこんなにも  
凄かったのか

私が想像してた  
よりも遥かに…  
んあああ♡♡

当然です  
だって私の  
『鞘』なのですから

シロウとの  
おまんこ…  
気持ち…いいっ

しゅごい…  
シロウ…♡

はいっ♡  
もっともっと  
感じてくださーい♡

はあ…はあ…

二人のおまんこ  
瓜二つな位  
最高に気持ちいいっ！

ううっ…二人共  
一緒に注ぐよっ！  
受けとめて…！

はいっ受けとめますっ  
いっぱい♡♡

膣内射精してください  
シロウっ♡♡





私達のお相手  
ほんとに  
よく頑張りましたね

貴方の中に眠る  
鞘の輝きも感じました  
これで本当に！！

また「外」で  
逢いましょう  
シロウ！！





恐らくはもう  
あの少年は  
聖杯の欠片の呪いで  
苦しむことは  
無いかと…

あの子の  
体内にある『鞘』の  
繋がりを  
私も感じました

はい  
有難う御座います



ポン

はいっ

オルタも  
ご苦労さまっ

マスター…



……もし  
道を違えれば  
私も…



私も  
あの者達のように  
なれたのかも  
知れない…か

となりの



◆表紙ラフ絵



YO-METSUDO  
PRESENTS  
FGO Fan Book

C94 FGO  
OMAKE BOOK

成人向

R18

18歳未満の  
購入・閲覧禁止



◆体操着(ブルマ)  
ネロちやま

ちほ♡

~

びっ♡  
ちほ♡

びっ♡

んあ♡

はあ…はあ…♡  
この衣装だと  
いつもより魔力供給が  
激しいのだが…♡

うむ…っ良いぞ…♡  
ならば いっぱい  
余のブルマ姿を  
堪能するが良いっ♡

ちほ♡

ズン

ズン

ズン

◆水着・邪ンヌちゃん(狂)



やはり  
ハワイなのね…  
いつ出発する？  
わたしも  
同行するわ



ちび…  
マスター!?!

アンタ：  
こんなに  
疲労するまで作業とか  
馬鹿なの？  
死ぬの？

：オルタちゃん  
ゴメン：

良いから  
こっち来て  
埋まってなさい  
まったく！  
何で私のマスターって：

あとでアンタの分  
手伝って  
あげるから

：うん  
オルタちゃん：

あゝ：  
オルタちゃんのおっぱいで  
癒やされるうう

バカッ！  
おっぱい越しで  
喋るな！  
もう…っ

むいっ♡

むいっ♡

◆旅装マルタさん

この衣装を着ると  
足が疼くわねっ

こんなポーズ  
どうかしら？  
連環腿って  
技なんだけど



◆ブーディカさん

もう…君みたいに  
頑張ってる子はね  
我慢せずに  
いっぱい年上に甘えて  
良いんだよっ？

わたしのおっぱい  
ずっと気に  
なってたんでしょ？  
スツキリして上げるから  
そこに座って…ね？♥



◆水着頼光ママ

ああ…こんな事  
風紀の乱れだと  
判っていますか？

母の愛は風紀よりも  
清く正しいものなのです…  
判ってくださいませよね？  
マスター…♡

たふふ

たふふ

ズン  
ズン  
ズン

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

ズン  
ズン  
ズン

ぬちゅ♡

ズン  
ズン  
ズン



## ■あしがき■

■そんな訳で乳王さま四幕のあしがきです  
三幕のラストで登場した槍トリアオルタ（以下オルタ）ですが  
本家の初登場のロンドンがアレ…だったのもあって  
他のキャラと比べて情報少なくて、どう動かそうか迷ってました。  
ですが、オルタの幕間のお話や属性：秩序・善の要素  
非情さもあるけど俗の風習にときめきを感じたり  
『余は悪くないもん！』と  
見た目と食事のジャンクさはオルタなのに  
中身は弄られやすいSNのセイバーに近い性格ということも合って  
自己解釈ですが今回のオルタは、SNのセイバーに則って  
初々しい総受けになりました。  
(オルタのエロでドSを期待した方はゴメンナサイ)

そして槍トリアxショタ士郎のお話も四幕目ですが  
綺麗に『結』や尊み的なものが描けてほっとしております。  
元々SN原作での初エロシーンが漢に背中を預けてる中での  
逃亡劇の中での魔力供給（H）だったので  
当時はどうしても抜けなかったのですが  
自分なりに抜けるシチュと、お話的に辻褄が合う流れを模索して  
今回描きましたが、『こういうのもアリ！』と  
気に入って頂けたら嬉しいです。

…まあ、四幕を終えても正直まだまだ描きたいネタや  
乳上二人だからこそ出来るシチュとか  
沢山有りすぎなので、四幕で終わろうと思ってましたが、  
好評だったらまた描くかと思います。  
(授業参観とかオルタ単体のお話とか)

それでは！平成最後でこの本を買ってくれた  
皆様に感謝しつつ失礼いたします。

また次回お会いしましょう！では～！

■奥付  
■発行：妖滅堂  
■発行日：2018・12/31 初版  
■著者：ヤサカニ・アン  
■印刷：共信印刷様  
■連絡先 e-mail：yasakani3@hotmail.com  
Twitter：https://twitter.com/yasakani

■18歳未満の方の購入、閲覧を禁止します。  
また、この本の一部、または全ての無断転載や複製  
インターネット上でのアップロードやファイル共有等を禁止します。



となりの

乳王さま 四幕

YO-METSLIDD  
PRESENTS  
Fate/SN・FGO Fan Book